

AOARP 理事会合 2015 議事概要
Seoul, 17h45-18h45, Thursday 22 October 2015
Mayfield Hotel – Room Iris 2

参加者 : Jong Kyung Kim, Kunwoo Cho, Hee-Seock Lee(韓国)、Senlin Liu(中国)、Tony Hooker、Cameron Jeffries(オーストラリア)、甲斐会長、佐々木(国際対応委員会幹事)

1. AOARP 会長であるマレーシア放射線防護学会 MARPA の前会長が欠席であることから、本会合は非公式会合となることが出席者全員で確認された。
 2. オーストラリア放射線防護学会 ARPS から、2018 年の AOCRP-5 の開催時期について、メルボルンの気候に配慮して 3 月下旬に開催することが提案された。
 3. 2016 年にケープタウンで開催される IRPA-14 について、以下の議論がなされた
 - ・ ARPS は 2024 年の IRPA-16 開催地に立候補予定であり、AOARP に協力を要請した。
 - ・ ARPS は次期 IRPA 理事に候補者を推薦する予定。JHPS は次期 IRPA 理事に女性の候補者を検討したいとの希望があり、AOARP に協力を要請した。
 - ・ AOARP から一人の候補者を出すか、各加盟学会から候補者を出すかについて議論がなされたが結論は IRPA-14 での AOARP 理事会で調整する。
 4. AOARP の財務状況の報告
 - ・ MARPA が AOARP に対して AOCRP-4 会議の会計報告を行い、ルールに従って返還する必要があることを確認した。本会合の参加者を代表し、ARPS が MARPA に対してこの件を要請する書簡を送ることとなった。
 5. その他
 - ・ JHPS から AOARP の会長の任期について、AOCRP の準備が容易になるようにするため、AOCRP 開催の 2 年前から 2 年後までに変更¹することの提案があった。この変更のためには規約の第 5 条の変更が必要かもしれないことを確認した。全ての参加者はこの変更は AOARP に有益であると賛同した。
 - ・ 中国放射線防護学会から、同学会会長の交代について報告された。
 - ・ IRPA-14 会期中における AOARP 関連活動について確認した。
- Sunday 8 May IRPA 14 加盟学会フォーラム (10h00-17h45)
Monday 9 May AOARP 理事会 2016 (12h30-13h30)
Tuesday 10 May 福島事故後の状況 (13h30-14h15)
Wednesday 11 May IRPA 総会 (13h30-18h00)
- IRPA 理事選挙
- 2020 年 IPRA15 開催地選挙
- 2024 年 IPRA16 開催地選挙

以 上

¹例えば 2014 年の AOCRP-4 を主催した MARPA から選出された AOCRP の会長任期は、2015 年あるいは 2016 年の 12 月 31 日までとし、2018 年の AOCRP-5 を主催する ARPS から選出された AOCRP 会長の任期は、2016 年あるいは 2017 年の 1 月 1 日から開始され、2019 年あるいは 2020 年の 12 月 31 日に終了することになる。